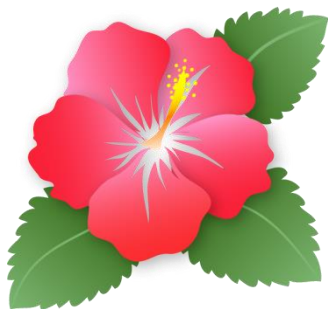


円満通信 第33号



株式会社 円満プランニング

発行責任者：松本 真由美

〒550-0005

大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル4F

TEL：06-6536-7700

FAX：06-6536-7705

e-mail：info@em-planning.com

ホームページ：http://em-planning.com/

弊社へのアクセス情報の
QRコードです

こんにちは。ファイナンシャル・プランナーの松本真由美です。

各地から梅雨便りが聞かれるようになりました。梅雨期は大雨による災害が発生しやすい時期です。また、梅雨明け後の盛夏期に必要な農業用の水等を蓄える重要な時期でもあります。

早くも2014年の前半が終わりました。雨降るひと時、今年の後半について考えてみるのもよいのではないのでしょうか。

では、今月も円満通信におつきあい頂ければ幸いです。



今月の似顔絵「梅雨」

地震保険料改定で保険料アップ！？

地震保険の加入率は年々上昇しており、2012年度の世帯加入率は全国平均で27.1%、新規に契約された火災保険のうち地震保険にも加入した人の割合は、56.5%となりました（出所：損害保険料率算出機構）。東日本大震災が起これ、今後も首都直下地震や南海トラフ地震などの巨大地震が想定される中、地震保険への関心もそれだけ高まっているといえます。2014年7月1日に予定されている保険料改定についてみていきましょう。

1. 改定率

現行の料率に対する引き上げ、引き下げは都道府県、建物の構造によって異なります。全国平均では、15.5%の引き上げとなります。※一部では値下げの地域もある。

	イ構造	ロ構造
埼玉県・大阪府	30%	30%
岐阜県・京都府・兵庫県・奈良県など	29%	30%
東京都・神奈川県・静岡県	20%	4%
愛知県・三重県・和歌山県・千葉県	20%	7%
長野県・滋賀県・岡山県・広島県	0%	-17%

※構造種別：イ構造＝マンションなどの省令耐火建物や準耐火建築物 ・ ロ構造＝戸建て住宅など木造などでイ構造以外の建物

2. 割引率

免震建築物割引率および耐震等級割引率（耐震等級3や2）の割引率は現行よりも拡大される。

免震建築物割引率	30% → 50%
耐震等級(3)の割引率	20% → 50%
耐震等級(2)の割引率	20% → 30%
耐震等級(1)の割引率	10%で変更なし。

つまり、7月までに火災保険（地震保険）を解約して入り直したほうが良いケースもありますし、逆に7月以降に入り直したほうが良いケースも出てくるのです。そのあたりは個別で異なりますので、これを機に、わが家が加入する火災保険・地震保険の点検をされても良いかもしれませんね。

どうなる？公的年金

オリンピックとサッカー・ワールドカップは4年に1度の開催。そして、日本の年金制度は、5年に1度公的年金財政検証が実施されています。最近、年金に関する報道が増えていることにお気づきですか？2014年はその5年に1度にあたる年です。ここ数日の日経新聞の記事見出しを拾ってみます。

- ・公的年金の財政検証・マイナス成長なら積立金枯渇も
- ・マクロ経済スライド、年金給付を自動抑制
- ・年金「現役収入の半分」以下も。厚労省が長期見通し
- ・年金維持へ3つの道筋・受給年齢上げや保険料納付延長
- ・75歳からの年金受給、86.9歳で同額に。
- ・50代でラストスパート 貯金1000万円は上積みも。

と、**明るい話題が、ない！** 朝日新聞でも「迫る！年金減時代」との特集が組まれていました。増税、相続税の課税強化、健保・介護保険の改正など他にも負担増が後から追いかけてきます。

みんなどう思っているの？ 調べてみると、「**35～64歳・老後の備え不足は6割超**」との内閣府の調査結果がありました。現役世代が公的年金や貯蓄・退職金の取り崩しだけでは老後の暮らしに不安を抱いている実情が浮き彫りになりました。

老後の経済的な備えについては、「かなり足りない」が50.4%、「少し足りない」が16.5%で、合計した「足りない」は66.9%。（右図）5歳ごとに分析すると「足りない」は40～44歳が74.4%で最も多く、年代が上がるにつれて下がる。一方、「十分だ」はわずか1.6%。「最低限はある」は21.7%だった。

弊社のお客様は、日本のサラリーマンが中心。現役世代は、老後のことより、毎日が忙しいし、今を生きることで精一杯！という方も多いです。

金融広報中央委員会の家計の金融行動に関する世論調査（二人以上世帯調査）2012年によると、過去1年の家計運営は、**思ったより家計運営は苦しかった：53.5%**と、5割の人が家計運営が苦しいと答えています。

さらに、同調査によると、生活設計策定の有無について、「現在生活設計を立てていないが、今後は立てるつもりである」世帯が41.1%、「現在生活設計を立てていないし、今後も立てるつもりはない」世帯は19.9%。**要は、老後の備え不足を気にしつつ、生活設計をしていないご家庭が6割超！なのですね？！**

最近のセミナーではよくいう言葉ですが、私は皆さんの今日明日の生活は心配していません。今払っている住宅ローンの金利や返し方は適正？生命保険はかけすぎてない？子どもの教育費は青天井？・・・その先のあなたの老後はバラ色ですか？**老後資金は、老後になってからは作れません。**高齢になってからの投資デビューでリスクの高い投資で大きな損失を出したら、取り返しがつきません。家計設計も、投資も、できることから、少しずつコツコツ積み上げていけば、もっと楽にできるんです！**家計設計は、今も楽しい。将来も楽しい。それを叶える手段**なのです。自分一人で悩むより、早く正しい解決策と一緒に考えたい！これからもFPとして皆さんをお手伝いしたいと思います。

老後の経済的な備え

